

滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成 27 年 8 月 17 日～24 日] 第 17 号

マレーシアレポート 7日目(8月23日)

SSH マレーシア研修7日目。この日はとてもハードな一日でした。そして、ホームステイのパートナーがいなくて、少し寂しい日でした。

《マーケット》

朝、日曜限定で開かれているというマーケットに行きました。民族衣装、伝統楽器、Tシャツ、伝統的なお菓子など、マレーシアらしいたくさんのお土産が置いてあり、しかもとても安いです。見て歩く中で、マレーシアの文化なども感じることができました。



《動物園》

この動物園はサバ政府がマレーシア人のためにマレーシア国内の野生動物を展示しています。そのためマレーシア人は、外国人観光客の半分の値段で入場することができます。ほかの国から贈呈された動物もありますが、マレーグマ、マレータイガー、オランウータン、テングザルなどマレーシア特有の動物を多く見ることができます。そのなかでも特に印象に残ったのがマレーシアの牛です。動物園に牛？と思うかもしれませんが、マレーシアの牛はほかの牛と少し違います。牛というより、シカと言ったほうが近いような印象でした。



動物園にはもちろん動物もたくさんいましたが、私たちの背丈より高い草、顔よりも大きい葉など、植物もたくさんの種類がありました。動物、植物ともにマレーシアの自然を感じることができました。

《ビーチ》

私たちは、サピ島の海にも行くことができました。海までは高速ボートで行ったのですが、スピードが速くて驚きました。そこでは、テレビでみるような本当にきれいな海が広がっていて、多くの魚や砂浜に住む生物を観察することができました。また島内に生息する野生のトカゲなどもいて、まさに自然の宝庫と言った感じでした。



《夕食》

翌日は朝早くからの移動ということで、お世話になったガイドさんたちと一緒に中華料理を食べました。色々な国の文化が集まっているマレーシアらしく、本格的な中華料理を食べることができました。



また、ガイドさんから滝川高校にと、東南アジアで一番高いコタキナバルの山、キナバル山の模型をいただきました。いただいた模型は校長室に飾ってあるそうです(現在は地学教室にあります)。

そして夕食の後、ホテル内でお別れ式をしました。生徒6人全員が英語でマレーシア研修の感想を発表しました。皆、約1週間の滞在で英語力が向上したと感ずることができました。

7日目は色々なところへ行くことができ、マレーシアの文化を感じることができた1日でした。

(報告者) 2E34 桑重奈央